

標記爭議其後、經過左記、通りニ有之
記

一、爭議團側ノ態度

爭議團側ニ在リテ、工場主側ガ依然態度強硬ナル為メ止ム
ナク持久戦ヲ覚悟シ表面強硬ナル態度ヲ装ヒツ、アルモ爭議
團員中ニ不安焦慮ノ色アル為メ之ガ結束ニ腐心シテ、アルト
共ニ交渉ノ端緒發見ニ努メテ、アルカ既報後ニ於ケル主タル
行動左ノ通り

以八月二十五日頃縦八寸、横六寸位ノ「ハトロン紙」

トネズミノ糞ヲ腐リ密柑モゴザヤノ刻以一紙七座ノモリ
ト二十銭で賣テ、己ガ女房ノ掃人病ヲ治シ得ルインゲンキ
中將湯ヲ葬水、水谷八重子ト云ニシ損ヒ數多女中モサデ
切リシト賣藥蘭堂、鴨貴族院議員、津村重舎ト懲セ
ト記載セル津村重舎ノ寫真入、印刷物ヲ作成工場及日本橋

本店其ノ他ニ配布或ハ貼付セリ

(2) 八月二十七日午後零時三十分頃組合本部員岡田助雄ハ爭議
團員四十名ヲ伴ヒ日本橋ノ中將湯本店ニ至リ店內喫茶部
ニ入りテ「イヤガラセ」的言辭ヲ弄シタル上同店村秋支取
人ニ面會ヲ求メ午後一時五十分頃村秋支取人ト會見、岡田
ヨリ津村工場主ト、會見斡旋方ヲ依頼シ午後三時三十分
去セリ

(3) 爭議團員中、須藤平吉及黒田三男ノ兩名ハ九月一日ヨリ病
氣ト称シ出團セズ又大井春治ハ九月八日御里石川縣ニ飯郷
セリ

(4) 九月十六日、津村工場主ヲ攻撃セル「パンフレット」ヲ貴
衆兩議員ニ郵送セリ

(5) 九月十六日、總同盟本部ニ於テ目下水爭議ヲ指導シツ、ア
ル中央合同労働組合、年度大會ニ於テ本爭議ニ關スル對策